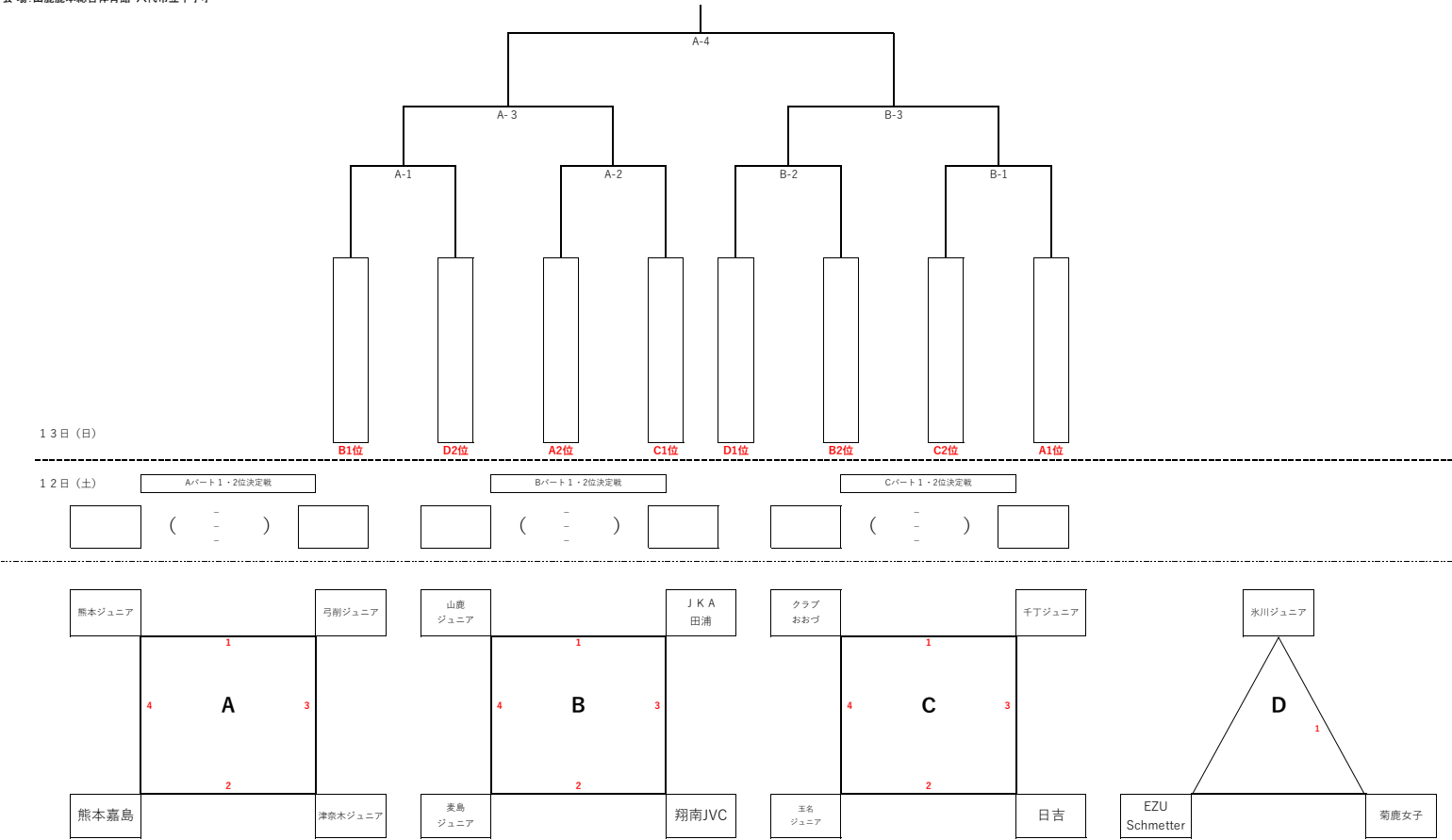


第20回(令和7年度) 熊本県スポーツ少年団バレーボール交流大会 組み合わせ

日時:令和7年7月12日(土)・13日(日)
会場:山鹿鹿本総合体育館・八代市立千丁小



- 組み合わせについて
- ①全日本予選の結果で、ベスト8チームの①JKA田浦、②津奈木ジュニアの2チームを4つのパートに振り分ける。第1シード、第2シードをA、Dパートに振り分ける。
- ②会場担当の熊本JVC・千丁ジュニアを入れる。その後、申し込み数の多い順に、熊本市の残り(4)、山鹿市・菊池郡市(3)、八代(2)、宇城(1)、荒尾玉名(1)、上益城(1)の順に入れていく。

- リーグ戦の試合結果について
- ①4チームによるリーグ戦を行う。その際、2勝チームが2つ出た場合は、3セットのパート代表決定戦を実施する。1勝1敗チームが複数出た場合は、セット率、得点率の順で順位を決定する。

- 審判について
- ①1日目は、試合をしないチームからファースト・セカンドの審判、及び、ラインジャッジ、点字、記録に4名ずつ出す。
- ②1日目の1・2位順位決定戦がある場合も、残りの2チームによる審判、補助員を出す。

③2日目の1回戦は相互審判。第1試合は1st、2ndは第2試合よりそれぞれ4名、第2試合は、1stは第1試合の負け、2ndは勝ち、補助員は負けより8名。準決勝以降は別途連絡

- 試合方法について
- ①7月で空調が入らないため、テクニカルタイムアウトは、1と2セットは7点、14点でとり、25-25のデュース、それ以降は、32-32、39-39と7点ずつ積み重ねた段階でとる。3セット目は、8点でとり、21-21のデュース、それ以降は28-28、35-35と7点ずつ積み重ねた段階でとる。
- ②当日、熱中症アラートが出た場合は、主催者側が実施の判断をする。熱中症アラームが鳴らないように、窓を前回にし、カーテンを開けて実施することもあり得る。